

## 外来診療のご案内

科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○	○	○	
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~) 予約制	○	○	○	○	○	
総合診療	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)						○
循環器内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○		○	○		
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)			○			
神経内科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~) 予約制	○	○			○	○※I
	午後 予約制			○			
外科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○※III	○	○※IV		
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)					○	
緩和ケア外来	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)					○	
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)			○			
整形外科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○	○	○		○	○
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)					○	
小児科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)	○※II	○※II	○	○※II	○	○
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)	○	○	○	○	○	
眼科	午前 8:30~11:30		○	○※V	○		
	午後 15:00~16:00 (診療開始15:00~)		○		○※VI		
リハビリテーション科	午後 14:30~17:00			○			
放射線科	午後 14:30~16:00	○			○		
耳鼻咽喉科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~)						○
	午後 16:30~18:30 (診療開始17:00~)	○					
歯科	午前 8:30~11:30 (診療開始 9:00~) 予約制	○	○	○	○	○	
	午後 13:30~16:30 (診療開始 13:30~) 予約制	○	○	○	○	○	

※I 神経内科  
第1・3土曜日  
睡眠時無呼吸症候群専門外来  
(完全予約制)

※II 小児科  
発達障害で受診希望の場合は事前予約要

※III 外科  
予約制 11:00~診察開始

※IV 外科  
第1・3はストマ外来を実施

※V 眼科  
第1・3水曜日のみ診察

※VI 眼科  
毎月最終木曜日の午後は休診

※VII 総合診療  
総合診療医1名と内科医3名の交替制

※VIII 内科:予約制 10:00~15:00診察

※IX 歯科  
診察希望時には、事前連絡要

2019年5月20日改定

## 交通アクセス



**交通機関をご利用される方へ**  
JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。  
JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

**自家用車をご利用される方へ**  
山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

※水玉ブリッジラインをご利用の方は最初の信号を左折して右折して側道に入ってください。

### 高梁川からの経路

1. 霞橋を目標にこられる場合  
霞橋を渡って水島方面へ左折、鶴の浦西側(高梁川堤防の下)の道を南下してください。
2. 水玉ブリッジラインからこられる場合  
水玉ブリッジライン水島大橋を出て、信号を右折して側道に入り、右折して下をくぐり抜けると右手正面です。\*水玉ブリッジライン無料

## 患者さんの権利と患者さんへのお願い

### 患者さんの権利

- 当院では、患者さんの相互理解により医療が行われるよう、患者さんの権利を尊重します。
1. ひとりの人間として、その人格・価値観は尊重されます。
  2. 医療を平等に受けることができます。
  3. 説明と十分な理解による同意をもとに、適切な医療を選ぶことができます。
  4. 当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
  5. 医療の過程で得られた個人情報には厳守され、患者さんの承諾なしには開示いたしません。

### 患者さんへのお願い

- 私たちが良質で安全かつ効率的な医療を提供するために次のことをお願いします。
1. ご自身の健康に関する正しい情報の提供
  2. ご自身の医療への積極的な参加
  3. ご自身の治療に必要な診療上のルールの遵守
  4. 他の患者さんの診療に支障をきたさないためのご協力
- 患者さんが、私たちと力を合せ、治療に専念され、少しでも早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構  
倉敷中央病院リバーサイド

〒712-8007 岡山県倉敷市鶴の浦2丁目6番11号  
TEL: 086-448-1111 FAX: 086-448-1251  
発行者: 土井 修 編集責任者: 山下 伸治



倉敷中央病院リバーサイドのホームページはコチラ  
<https://www.kchnet.or.jp/krh/>  
是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。

# FUREI

ふれあい

Vol. 61

Kurashiki Riverside Hospital



「立夏」油彩 森 美由希

## contents

- 門出にあたって
- イベントのご案内 KRH ニュース
- 新人職員紹介
- ふれあい表紙デザイン大募集
- 糖尿病診療について
- 糖尿病のはなし



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構  
倉敷中央病院リバーサイド

- 理念 私たちは医療の担い手としての責務を自覚し研鑽を重ね、「人と人とのふれあい」を大切にし、地域の人々に一層の信頼を得られる医療を提供し地域社会に貢献します。
- 基本方針
1. 患者さんの立場を尊重し、納得と同意に基づく医療を実行します。
  2. 医療技術と知識の習得に努め、良質で安全な医療を提供できるよう努めます。
  3. 地域の人々の診療、健康保持・増進に努めます。

5月1日より、倉敷リバーサイド病院は、  
「倉敷中央病院リバーサイド」に変わりました。

### 倉敷中央病院リバーサイドとしての門出にあたって

2019年5月1日から「倉敷リバーサイド病院」は「倉敷中央病院リバーサイド」と病院名を改めました。

姉妹病院である倉敷中央病院との一体感を強めさらに真の機能分化を進めるために病院名を変えてはという機運が最近院内には高まっていました。そこで病院名を職員に公募することになりました。多数の応募がありました。どの提案名も捨てがたいものばかりでしたが、倉敷中央病院リバーサイドが一番多数でしたので決定しました。



倉敷中央病院リバーサイドは高梁川河口の恵まれた自然の中にあります。地域に密着した病院で地域の人々に信頼していただいています。また職員一同、患者さん目線で可能な医療をどこまでも追及しています。

さて真の機能分化とはどのような関係をいうのでしょうか？高度医療は日進月歩です。これまで救命できなかった命も救える時代になっています。しかしながら、高度医療を受けた患者さんはすぐに社会復帰できるでしょうか。とりわけ高齢になるにつれて身体環境すなわち腎機能、心機能、運動能力等が障害されて回復に時間がかかるだけではなく悪循環に陥る

こともあります。そして最悪の場合は看取りになってしまうことがあります。

そのような患者さんをできるだけ出さないように、そして不幸にしてそのような状態になった患者さんを可能な限り治療するのも当院の大きな使命の一つです。患者さんの適格な高度医療へのトライアージ、すなわち当院で可能な医療は自院で行い高度専門医療の必要性を的確に判断し倉敷中央病院と密接な連携をとっていきます。そして高度医療を受けた患者さんが不幸にしてその身体環境が障害された場合には、解きほぐして在宅通院医療ができるように回復させていかなければなりません。



すなわち高度専門医療による身体環境の破綻の予防と治療は当院の大きな使命の一つであり、かつ機能分化の一形態です。それにはスタッフが丸となってその専門性と総合性を生かして医療、ケアを行う必要があります。スタッフはさらなる日々の研鑽を継続してまいります。

当院は倉敷中央病院リバーサイドに病院名を変更して真の機能分化の追求に邁進いたす所存です。皆様方の益々の温かいご指導、ご支援をお願いいたします。

院長 土井 修



## イベントのご案内

### 病院の日・看護の日開催のご案内 病院の仕事を体験してみよう



**対象** 中学生のみなさん

**日時** 2019年 8月24日(土) 9:00 ~ 12:00

**場所** 倉敷中央病院リバーサイド 2階健康管理センター  
(詳細決定次第院内へ掲示予定)

### 健康長寿のための食事教室のご案内

健康について  
学びましょう！



下記の通り、開催いたします。  
どなたでもお気軽にご参加ください。

**日時** 毎月 第2木曜日  
14:00 ~ 15:00

**場所** 別館1階 第2会議室  
筆記用具、食品交換表をお持ちの方はご持参下さい

お申し込み不要

2019 6/13 「塩分について」

2019 8/8 「夏の食材特集」

**問合せ先** 倉敷中央病院リバーサイド 栄養治療室  
TEL:086-448-1111 内線6316

## KRH ニュース

### はじめまして、「さんぽるて」です！

倉敷中央病院リバーサイドの敷地内に新しく建てられたこの施設。ご来院いただいた皆様も気になっていたかと存じます。実はここ、倉敷市内にある「社会福祉法人めやす箱」が管理・運営する「児童発達支援センター さんぽるて」という名前の児童福祉施設なんです。



「さんぽるて」さんの外観

#### 同社会福祉法人「さんぽるて」の担当者の渡辺さんと武田さんにお話を伺いました。

こちらの施設は、家庭・医療・事業所の3者(さん)が連携をして、太陽(Sun(さん))のように輝いて、「自分らしく」未来の扉(扉:フランス語で「Porto(ポルト)」)を開こうとの思いを込めて、名前を「さんぽるて」と名付けました。

発達障害や身体障害、重症心身障害などのお子さん(2~6歳)にご利用いただける施設で、平日と第1・3土曜(いずれも午前9時~午後3時)に開いています。

岡山県より指定を受けて運営しており、保育士、作業療法士、看護師などがスタッフとして働いています。人工呼吸器を使用しているお子さんや「胃ろう※」など、医療的ケアを必要とするお子さんたちの受け入れをさせていただいています。

※「胃ろう」…口から食事をとれない方や、食べてもむせ込んで肺炎などを起こしやすい方に、直接胃に栄養を入れるためにお腹に作られる穴

#### お問合せ

社会福祉法人めやす箱  
児童発達支援センター さんぽるて  
〒712-8007 倉敷市鶴の浦2丁目55-338  
TEL:086-436-6922 FAX:086-436-6923

#### ふれあいスタッフからのひとこと

3月末に行われた内覧会で、私たちも中を見させていただきましたが、木のぬくもりをたくさん感じる造りでした。各部屋とも大きい窓を通して注がれる太陽の光が心地よく、心安らく施設でした。



# 鈴木副院長より 糖尿病診療について

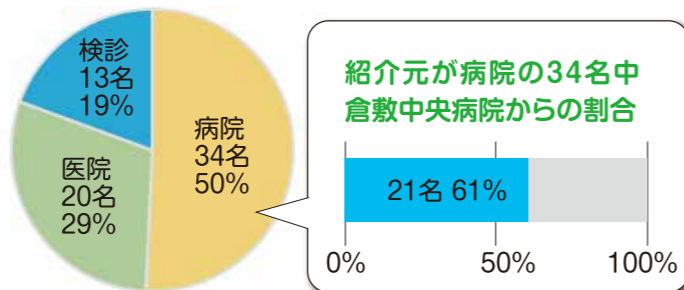
2018年11月に当院に着任して半年が過ぎました。この間の私の糖尿病診療についてまとめてみたいと思います。当院には楠本先生、倉敷中央病院の高橋先生、藤原先生の糖尿病外来もあり、病院全体で約1300名の糖尿病の患者さんが通院されています。このうち私の外来患者さんは約400名です。私の火曜と水曜の外来には1日30名ほどの再診患者さんが受診され、その中に2-3名程度の初診患者さんが受診されます。院外や健康管理センターからの紹介患者さんには糖尿病の経過について詳しく聞き取りを行う必要がある為、初診患者さんが多いと再診患者さんをお待たせしてしまうことがあります。2018年11月から2019年3月までの5か月間で病院外から私に67名の紹介をいただきました。紹介元の内訳は医院20名、検診13名、病院34名でした。このうち倉敷中央病院からの転院が21名でした。外来・転院の内訳は外来40名(糖尿病患者30名(75%)) 転院27名(糖尿病患者17名(63%))、平均HbA1cは外来8.6%、転院7.3%でした。転院患者さんには紹介元での入院治療の効果があるものと思われます。



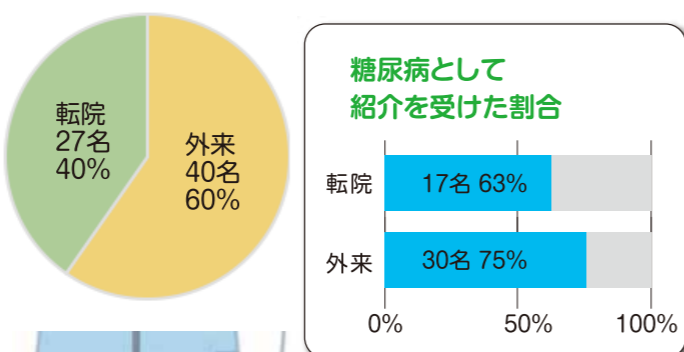
ご紹介を受けた患者さん 67名  
※2018年11月から5月間

## 紹介

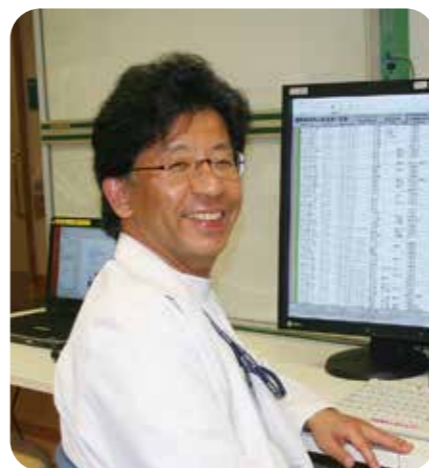
血糖コントロール目的での紹介は医院14名、検診7名、病院3名でした。医院からの14名のうち、3名に糖尿病教育入院を受けていただきました。この14名の転帰としては紹介元通院4名、当院外来併診7名、当院外来通院3名となりました。入院治療のみならず外来治療でも速やかな血糖コントロールの改善が得られることがあるのですが、半数の患者さんが当院での外来併診となりました。このような形の通院治療の場合は血糖コントロールの改善まで半年から1年以上かかることがあります。なお、同じ時期の糖尿病教育入院は合計21名であり、当院外来から17名、当院健康管理センターから1名でした。糖尿病の治療でお悩みの患者さん、主治医の先生とよくご相談のうえ、当院糖尿病外来の受診あるいは糖尿病教育入院をお考えください。糖尿病は正しく治療すれば必ず良くなります。



## 入院・外来内訳



# Dr. だより 糖尿病のはなし Vol.1



内科 鈴木 貴博 副院長

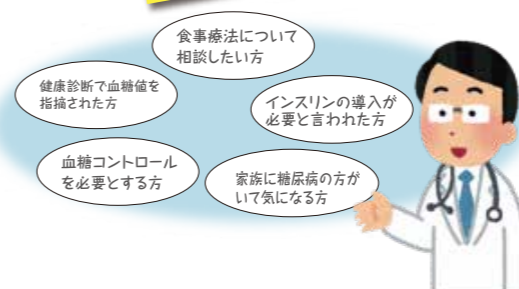
糖尿病患者さんの病状は人それぞれです。糖尿病の経過が長いのか短いのか、腹部肥満があるかないか、食生活が規則正しいか不規則か、朝食を食べるか食べないか、間食をするかしないか、運動習慣があるかないか、飲酒喫煙があるかないか、身内に糖尿病の方がいるかいないかなど、いわゆる生活習慣が糖尿病の病状に大きく影響します。生活習慣の改善だけで血糖コントロール良好となることも多いのですが、膵臓のインスリン分泌能が低下してしまうと内服薬や注射薬が必要となります。血糖コントロール不良のまま経過している患者さんには糖尿病教育入院をお勧めしています。

入院期間は2週間と長いのですが、病院食を3食規則正しく食べて、インスリンを1日4回注射して、理学療法士さんと一緒に運動することで血糖値はみるみる下がっていきます。インスリン注射の針は細いので、大した痛みもありません。さらに膵臓のインスリン分泌能を詳しく調べることで、内服薬で治療可能かどうか、インスリン注射を中止できるかどうか、正確に判断することができます。糖尿病の内服薬は現在7種類あり、注射薬にはインスリン製剤とGLP-1受容体作動薬があります。患者さんお一人お一人に合わせて治療の組み合わせも変わっていきます。さらに糖尿病の合併症である網膜症、腎症、神経障害、動脈硬化、歯周病についても検査します。看護師さん、薬剤師さん、管理栄養士さん、検査技師さん、歯科衛生士さんとともに糖尿病について学ぶことも大切です。次回は糖尿病教育入院について、更に詳しくお話しいたします。

糖尿病教育入院で血糖のコントロールと糖尿病への正しい理解を深めましょう



# ご案内 糖尿病外来



受付時間	月	火	水	木	金
8:00~11:30 (診療開始 9:00~)	●	●	●	●	●
15:00~16:00 (診療開始 15:00~)		●	●		

担当医 ● 鈴木 ● 楠本 ● 高橋 ● 藤原